

脳卒中後の歩行リハビリテーションの評価に関する臨床研究の

参加協力者募集のための診療録の事前閲覧のお願い

研究責任者 所属 東京湾岸リハビリテーション病院 職名 医師
氏名 川上途行

実務責任者 所属 東京湾岸リハビリテーション病院 職名 理学療法士
氏名 村越夏未
連絡先電話番号 0474-53-9010

当院では、上記の臨床研究を、当院倫理審査会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しております。

それにあたり、当院に入院されている方において、患者さんの診療録等を事前に確認させていただいております。そのうえで、以下の「1. 対象となる方」の基準に該当される方においては、担当者より本研究のご参加についてのご希望をお伺いさせていただくことがあります。

ご参加を希望されない場合は、その際に断っていただいて構いません。最終的な研究の参加は、文書による説明および同意によってなされます。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本通知はご参加の前段階の診療録の閲覧の周知を目的としております。事前の閲覧を望まれない患者さんは、その旨を「7. お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 診療録の事前閲覧の対象となる方および本研究の対象となる方

西暦 2018 年 11 月 1 日より 2022 年 12 月 31 日までの間に、東京湾岸リハビリテーション病院にて脳卒中（脳梗塞・脳出血）の治療・リハビリテーションのため入院した方を対象に診療録の事前閲覧をさせていただきます。

その中で、本研究では以下の基準に該当する方を対象に参加を募らせていただいております。

- ・初発の脳卒中の方
- ・年齢 20-80 歳の方
- ・発症後期間 90 日～120 日の方
- ・杖等を使用せず、はだしでの歩行が見守り以上で可能な方
- ・研究の内容をご理解いただける方
- ・歩行できないような重篤な心疾患や運動障害のない方

2 研究課題名

承認番号 No209-3

研究課題名 脳卒中患者における歩行中の膝関節の運動学的検討

3 研究実施機関

研究実施機関

研究責任者

東京湾岸リハビリテーション病院（主機関） 川上途行、村越夏未、高橋容子、小西 晟智

4 本研究の意義、目的、方法

脳卒中を発症した後の歩行では、麻痺側の膝を固定して歩く「反張膝」という症状が多く出現します。この反張膝は、歩行効率の低下や将来的な膝痛の誘発など、様々な問題を引き起こすことが指摘されています。この反張膝の原因は複数が混在していることが多く、正確な原因の特定方法や効果的な治療については明らかではありません。本研究では、歩行中の下肢の筋肉の活動状態と下肢の機能（麻痺の状態、筋肉の緊張、筋力、歩行パターン）の関係を明らかにすることで、将来的に、患者さん個々の状態に合わせた歩行リハビリテーション方法を確立していくことを目的としています。本研究は、共同研究機関として慶應義塾大学が含まれていますが、取得したデータが当院外に持ち出されることはありません。

5 本研究に参加された場合に協力をお願いする内容

本研究に参加していただいた場合、以下の検査を実施させていただきます。

- ・歩行解析（足に筋肉の活動や関節の動きを感知するマーカーを着けて歩行を測定します）
- ・麻痺側の足の運動機能、筋肉の緊張、筋力の評価
- ・歩行しているところの動画撮影・評価
- ・カルテからの情報の取得（年齢、性別、診断名、病巣、麻痺側、発症後期間、入院時の運動機能）

6 本研究の実施期間

西暦 2018年11月19日～2023年8月31日

7 お問い合わせ

本研究に関する質問、および診療録の事前の閲覧を望まれない患者さんは、以下の連絡先にご連絡をお願いします。

村越夏未（リハビリテーション部理学療法科理学療法士）

外線電話番号：0474-53-9010 （8:30～17:30の間）

以上